

報道関係者と民博との懇談会

話題一覧

2022年9月15日(木)15:30~17:00

懇談会

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長) —

2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長) —

3. 特別研究関連シンポジウム

日本万国博覧会記念公園シンポジウム 2022

「人類よ、どこへ行く？ポストコロナの世界を占う Quo vadis, homini?」

[詳しくはこちら](#)

本館特別研究「コロナ禍に対するローカルな対処としての『文化の免疫系』に関する比較研究」関連シンポジウムです。各分野の第一線で活躍する研究者が議論を交わし、コロナ禍以降の世界像を描きます。

日時：2022年10月29日(土) 13:30-16:30 (開場 13:00)

会場：みんなくインテリジェントホール (講堂)

主催：国立民族学博物館、大阪府、公益財団法人千里文化財団

定員：200名 (要事前申込み/先着順)

参加費：無料 (要展示観覧券)



— 島村 一平 (学術資源研究開発センター 准教授) —

4. 公開講演会「『民族』再考——日本と台湾から」

「民族」とは何か、その概念はどのようにつくられたのか。共同体や国家の流動化によって、かたちも変わるのか。これらの問題を、日本と台湾の事例をとおして考えます。

日時：2022年11月11日(金) 18:30-20:40 (開場 17:30)

会場：日経ホール (東京都千代田区大手町1-3-7 日経ビル 3F)

主催：国立民族学博物館、日本経済新聞社

定員：300名 (要事前申込み/先着順) ※手話通訳あり

参加費：無料

※WEBライブ中継あり (要事前申込み/定員なし)

画像：さまざまな地域の資料が展示されている本館の日本の文化展示場



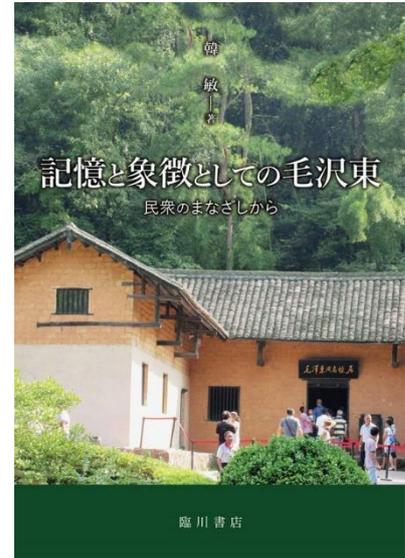
— 平井 京之介 (人類文明誌研究部 教授) —

5. 最新の研究紹介

[詳しくはこちら](#)

『記憶と象徴としての毛沢東——民衆のまなざしから』

(韓敏 著／臨川書店)



— 韓 敏 (超域フィールド科学研究部 教授) —

6. 展示ツアー

企画展「海のくらしアート展 モノからみる東南アジアとオセアニア」

[詳しくはこちら](#)

企画展の見どころを展示場にて解説します。

(Zoomでのライブ配信も予定)

会 期：2022年9月8日(木)～12月13日(火)

会 場：国立民族学博物館 本館企画展示場

観覧料：一般 580 円 (490 円)、

大学生 250 円 (200 円)、高校生以下 無料

※()は20名以上の団体料金、

リピーターは団体料金を適用

※本館展示もご覧いただけます



— 小野 林太郎 (学術資源研究開発センター 准教授) —



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報・IR係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp